



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社ユビキタス AI コーポレーション  
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 聡  
 (コード 3858、東証 JASDAQ)  
 問合せ先  
 役職・氏名 執行役員管理本部長 辰馬 正崇  
 電話 03-5908-3451

## 2019年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年11月9日付「2019年3月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 2019年3月期 通期 連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	2,362	4	21	△29	△3円15銭
今回修正(B)	2,406	77	101	41	3円98銭
増減額(B-A)	44	73	80	70	
増減率	1.9%	1832.5%	379.5%	-	

#### 2. 業績予想修正の理由

##### (1) 売上高の増加理由

コネクティビティ&セキュリティ事業において受託開発売上は予想値を下回ったものの、組込みソフトウェア事業、ソフトウェアディストリビューション事業において、前払案件を含むロイヤルティ売上の獲得が予想値を大きく上回り推移したことから、売上高は前回予想を上回る見込みであります。

##### (2) 損益面の改善理由

(a) 組込みソフトウェア事業、ソフトウェアディストリビューション事業においてロイヤルティ売上が予想値を上回る見込みであること、

(b) コネクティビティ&セキュリティ事業において、ロイヤルティ売上等が予想値より増加、また、受託開発案件の獲得が予想を下回るものの、外注費が減少する見込みであること、

(c) ソフトウェアサービス事業において、一部の受託開発案件の売上計上が翌期に延びたものの、ロイヤルティ売上が予想値を上回る見込みであること

等から、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回の予想を上回る見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。